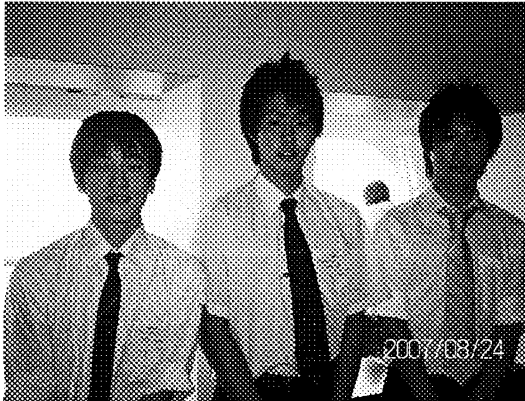


## 2007年度インターンシップ実習生の体験談 その2



<後半日程>  
期間: 8月20日(月)~8月31日(金)  
平日10日間  
時間: 8:40~17:30  
実習先: (株)富士通ワイエフシー  
地域ビジネス本部または医療ビジネス(事)  
そして外部顧客先  
実習生: 3大学より3名

### ③酒井 慶さん 経営学部3年次 <実習先: 地域ビジネス本部>

#### Q1. 実習課題、目標は?

社会に出て働くとはどういうことか、という疑問に漠然としたイメージしか浮かべられない自分がおり、もっと具体的に知りたいと思ったのでインターンシップを志願しました。会社や社会に従事するとは何か、人々に貢献するとはどういうことか、というようなことを理解したいと考えております。

#### Q2. 情報サービス業界および当社を選んだのは?

情報化の発展によりコンピュータはなくてはならない存在となりました。そのような環境において、情報サービスはとても重要な位置にあると思います。そこで具体的に業界も知りたいと考えたのでこの業界を志願しました。貴社のホームページを閲覧した時にとても良い印象を受け、貴社で学習したいと思いました。特にアウトソーシング事業というものに強く興味を抱きました。

#### Q3. 課題は達成できましたか? (達成度: 90%)

できた点: 学生生活とは違い、社会人として働くには責任が伴い、いかに学生が甘いかということが分かった。顧客の信頼を裏切らないようにセキュリティやチェックを万全にすることから、従事、貢献するということを理解した。 不十分な点: マナーを気にするあまり、少し遠慮しすぎたかなとも思う。もっと普段の自分を出せばもっと積極的になれた。

#### Q4. 実習を通しての具体的な成果は?

IT業界のこと、会社のことや仕事の内容を具体的に知ることが出来た。会社の仕組みや目的、部署の位置づけや機能など資料を読むだけでなく実際に体験し、社員の話を聞くことで深く理解することができた。シスアドの試験勉強として習ったことも実際に見ることができたので、知識として頭に残ったと思う。また知識だけでなく熱意や態度、人柄も仕事を左右するということに気付き、そういう部分も意識して物事に取り組んでいこうと思った。進路がまだ曖昧であったが少し具体的になり、就活に対するモチベーションにもつながった。

#### Q5. 職種(仕事)体験を通し学んだこと、感じたことは何ですか?

##### ①オリエンテーション&ガイダンス&神情協合同研修会&まとめ (3日)

事業内容や計画、目標を勉強し、社長の話を聞くことにより具体的に会社と社会の関係、社員と会社の関係を知ることができた。このことにより、人々が働くという意味を理解できた。ワイエフシーに対して一番感じたことは、福利厚生が良いということだ。社員のことをよく考えており、年次休暇や社員旅行、女性支援やテレワークなど、社長の人柄がうかがえる素晴らしいものだった。環境にも配慮していて社会性がある。

##### ②SE/PG/NE/WEB職 (3日)

プログラムを作ることも勿論この職業の仕事だが他にも重要なことが沢山あるのだということを知った。1つはシステムを作る段階で、お客さんについて知らなければならないということである。お客さんは様々な業種に及ぶので、その業種について知らなければならない。そこが大変なところであり、面白いところなのではないかと思った。2つめは作ったシステムをお客さんの前でデモするということだ。どんなに良いシステムでもここで上手いかなければ売れない。お客さんのニーズを捉えそれを満たすことが重要だ。HPの作成でも同じことがいえる。知識としてはグループウェアのことやHTML、フラッシュの作り方等を学んだ。

##### ③運用技術職 (2日)

個人情報など重要データを扱うので、セキュリティが厳重だった。そういったデータを処理したり、ミスが無いチェックしたりする業務から、「信頼」というものを感じ具体的に理解した。サーバの管理や受託業務などアウトソーシング業務は常に会社と顧客の信頼関係の上に成り立っているということを知った。こういうことから社会人として働くという責任を感じた。

#### ④営業職（2日）

「人との関わり」が最も重要だと感じた。顧客訪問の時は、お客さんとの時間を多くとれるように速く歩き、昼食もすぐに済ますということを体験した。お客さんとの話も、仕事のことだけでなく他のことにも話題は及ぶ。グループ会社の社員に対しても同じで、上手に付き合っていくことで他社よりも速く情報が入ったりして仕事が上手いく。営業支援部とも定期的に話し合っており、人間関係やコミュニケーション力の大切さを知った。実習の中で、一番自分に向いているのではないかと思った。

#### Q6.当社をどのように理解しましたか？

一番強く感じたのは、社員のことを大事にしているということだ。それに応えて社員も皆真面目に働いている。研修や資格支援などのOFFJTも充実しており、社員のやる気次第で実力はどんどん上がっていきだろう。職場の人間関係も良く、仕事がしやすいそうだ。ただ、少し声が小さく元気が無いという印象も受けた。業績も富士通、横浜銀行というバックボーンもあり伸びている。大変良い会社だと思った。

#### ④前澤達也さん 情報学部3年次 <実習先:地域ビジネス本部>

##### Q1.実習課題、目標は？

会社とはどういったところで、職場の雰囲気や仕事を体験してみたいと思ったから。

##### Q2.情報サービス業界および当社を選んだのは？

自分が興味(通信・セキュリティ)ある分野だから。YFCは興味のある分野の仕事を扱っていて、体験させてもらえそうだった。

##### Q3.課題は達成できましたか？（達成度:80%）

できた点: データ入力やソフトのインストールから設定などの仕事体験、その場の雰囲気は体験できた。  
不十分な点: 前半は緊張していて、あまり話を聞くことができなかった。

##### Q4.実習を通しての具体的成果は？

ソフトを使つての開発、運用から手作業による確認・仕分けまで体験させてもらい、IT企業と一言で言ってもいろんな仕事があることを知りました。また、いろんな年代の人の話を聞いたのもよかったです。体験・実習を通してコミュニケーションの大切さを改めて実感しました。自分は人見知りをするので、自分からはあまり話さないが、今回来て最初の時よりはいろんな人と話せるようになりました。

##### Q5.職種(仕事)体験を通し学んだこと、感じたことは何ですか？

###### ①オリエンテーション&ガイダンス&神情協合同研修会&まとめ（3日）

ガイダンスを聞いて、有休、土曜、日曜、休みなど、魅力的な事がたくさんありました。

###### ②SE/PG/NE/WEB職（3日）

GLOVIAsmartというソフトのインストール作業は、説明書を読みながらの作業だったが、うまく作動しなかった。成功しないこともあり、失敗の方がほとんどだということ。ホームページにデータ登録の作業は、地道な作業だが、入力ミスがあったときにエラー表示されるという確認や誤動作の確認も行ったのだが、確認作業があつて初めて、お客様に渡るとのこと。ホームページの作成についても、お客様の要望にあつたものを作らなければならないという大変さ。自分の好きなようにできないのが仕事なんだと感じました。

###### ③運用技術職（2日）

業務管理、税金グループでは、主に手作業による作業を体験させてもらいました。入荷と出荷のときはやはり手作業でやり、途中の作業はプログラムを使ってデータ処理を行う。オペレーショングループは、大型コンピュータを用いて作業をするところで、通信料金の支払い結果処理作業を体験させてもらいました。知らない名前の銀行があり、1つ1つのデータの中に個人情報が入っているので、流れ作業でも気が抜けない。IDC(インターネット・データ・センター)ではサーバの管理からシステム開発まで幅広く仕事をしているので、知識が必要だと感じました。

###### ④営業職（2日）

アポなしで顧客訪問しても快く受け入れてくれて、お客様との信頼関係の深さを感じました。今の暑い時期の外での仕事の大変さを体験しました。またキックオフ会という最初の会議にも参加させてもらい、どんなスケジュールで、どんな作業をして本稼働します。という確認の会で、最初からスケジュールが決まっていることを知りました。

Q6.当社をどのように理解しましたか？

どの会社もだともいますが簡単な仕事は1つもないということ。また、みなさんいいひとばかりで仕事もできる素晴らしい人たちがいるいい会社だと思いました。

⑤河村隆芳さん コンピュータサイエンス学部3年次 <実習先:医療ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は？

普段の生活では決して体験出来ないため。営業やプログラミングによるソフト開発、SEの仕事の体験。

Q2.情報サービス業界および当社を選んだのは？

営業やソフトウェア開発に興味があるため。昨年のインターンシップの内容や、SEの育成など、ホームページで見て、御社で体験したいと思い志望しました。

Q3.課題は達成できましたか？（達成度:80%）

できた点:SEの仕事体験、実際に行っている内容や、大変さを学ぶことで今まで間違っ抱えていたSEの姿を正しく認識できるようになった。

不十分な点:営業には行けたが少し物足りなさを感じた。また、プログラミングを作っている人達の作業内容を実際に見ることが出来なかったため、達成感を得られなかった。

Q4.実習を通しての具体的成果は？

社会に出て働いてお金を稼ぐことの難しさ。各部署で長くて3日、短くて1日ではあったが、たったそれだけの期間にもかかわらず、仕事のつらさを学んだ。またお客様への対応で話し方や態度などを見て、自分には足りていないことをおぎなうことが出来た。相手が何を考え、何を必要としているか、人と接するにあたり自分ばかりアピールするのではなく、相手のことを考え引き出す能力を身につけていこうと思いました。

Q5.職種(仕事)体験を通し学んだこと、感じたことは何ですか？

①オリエンテーション&ガイダンス&神情協同研修会&まとめ（3日）

会社で働くことの大変さです。ただ単に何も考えずに働くのではなく、規程や作法など細かいことを意識してお客様と接し、また、会社のイメージを守ること、会社のためを思うことなど、働くことの意味と意識に関して学びました。

②SE/PG職（3日）

システム開発では根気です。同じ作業をくり返したり、システムがうまく動作しなかった時の原因追究など、何度も何度も繰り返して正しい方向へと持っていくことの大変さを学びました。それに実際使う人のことを考えて、見やすくしたり作業を簡単に出来るようになどを考えながら、システムを使えるようにしていく楽しさも学びました。

③運用技術職（3日）

システムの運用・管理では作業に対する慎重さと、お客様への対応の仕方です。作業内容に間違いがないか、2重にチェックを行ったり、正しい作業が出来たという証明を残したりと、絶対に間違いなくお客様の要望に答える重要さを学んだ。電話での対応に関してとても丁寧に、また、話し方にしても分かりやすく話している姿など、とても勉強になりました。

④営業職（1日）

お客様とのコミュニケーションやつき合い方です。お客様の元へ訪問し何か作業を行う時、お客様への接し方について不測の事態にはどのように応じるか、また、お客様からどれだけの信頼を得るかなど、その難しさについて学びました。長い間つき会うことになる上で、要望や条件に対してどれだけ答えることができるかなど、対人関係を維持することの大切さがとても勉強になりました。

Q6.当社をどのように理解しましたか？

人と人とのコミュニケーションの重要さを学びました。誰かが仕事を引き受けるとさりげなく手伝いをしたり、また、難しい内容になると皆で協力して対応したりと、仲間同士で協力し合う素晴らしさを学ぶことが出来ました。